

「育てよう思いやりの心 深めよう家族の絆」



1. 犬丸小学校の概要

- 明治8年に伊多津小学校として犬丸村の民家の一室で開校され、以後、松梨小学校、蛭川小学校、蛭川尋常小学校、田川尋常小学校、犬丸尋常小学校と改称を経て昭和22年に現在の犬丸小学校と改称された歴史と伝統のある小学校です。
- 小松市北部に位置し、東に遠く白山を望み、面に近く日本海とその海岸の松の緑を眺める水田地帯にあります。地域住民は温厚誠実で教育に対して極めて関心が強く、学校に対しても大変協力的です。
- 全校児童150名の小規模校ですが子どもたちは、勉強にも遊びにも熱心に取り組む活気のある学校です。



せんだんの木



2. テーマの設定

20年度、犬丸小学校育友会で「育てよう思いやりの心 深めよう家族の絆」を研究発表テーマとして掲げました。昨今、核家族化や家庭の様々な事情による家族、親子の対話機会の減少、それに伴い親子共同作業の時間が減ってきています。家族のコミュニケーション不足が子どもたちの生活習慣にも少なからず影響を与えているのではないのでしょうか。そこで子どもたちの生活環境を改善するうえで、今一番必要なことは、家族のふれあう時間を増やし、絆を深めることなのではと考えました。

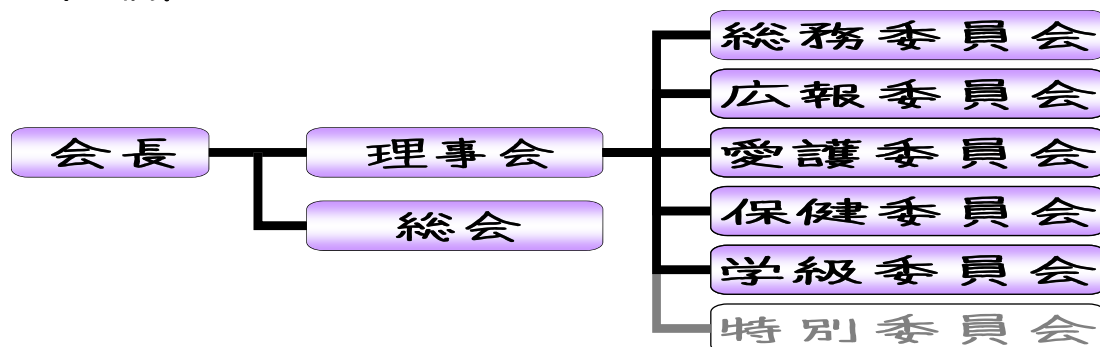
以上のことから次の4つも育友会活動のねらいとして取り組みました。

- 家族との対話の機会を増やし、親子の深い関係を築こう
- 親子で共同作業や共同体験をしていく中で奉仕の心を育もう
- 基本的生活を再確認していく中で理想的な習慣を培おう
- 育友会活動を見童と保護者相互の感性を養う機会としよう



育友会活動の4つのねらいの中からヒト、モノ、自然を思いやる心が子どもたちに芽生えてくれればとの願いを込めてこのテーマの設定に至りました。

3. 育友会組織



4. 各委員会の活動

各委員会についても同様にねらいを定めて活動することになりました。

- ・ マネリ化しつつある各委員会活動を活気あるものにしよう
- ・ 現活動内容について前年度からの反省と課題も活かそう
- ・ 各行事、活動の内容も今一度見直し充実したものにしよう

これらを踏まえた上で"テーマに何処まで"迫れるかも意識してそれぞれの各委員会活動に取り組みました。

(1) 総務委員会

活動テーマ 「深めよう家族の絆」

☆目的

総務委員会で"は「深めよう家族の絆」のテーマのもと、親子で"の触れ合いの機会を設けることを目的として活動しました。

☆活動内容

★お話ライブラリー★

19年度までは図書ボランティアの方々に全てお任せしていたお話ライブラリーに、親子で楽しめる手作りマジックカードの作成も行い参加することになりました。



プログラム

- ・みんわ
- ・人形あそび
- ・早口ことばあそび
- ・マジックカード
- ・パネルシアター

- ① 活動テーマを基にどのような内容にするか委員で検討し、準備を進めました。
- ② 準備作業は基本的には学校に集まって行いましたが、時には家に持ち帰っての作業をするなど大変なこともありました。
- ③ 委員だけでは出し物が少なかったため、今回も図書ボランティアの方々に応援していただきました。



不思議だなあ～！

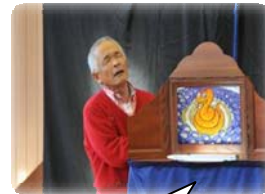
お家で家族の前
で試してみね！

マジックが簡単に出来るカードも作成し、児童の前で総務委員が披露し、それと同じ物を児童に配布しました。子供たちはそのカードを使って家族にマジックを披露し、ふれあいの場を作ってもらいました。

また、図書ボランティアの方々が応援、ご協力してくださった人形劇や紙芝居等も、我々親子を楽しませてくれました。



【人形あそび】



【のまりん劇場】

☆成果と課題

- ◇ マジックカードは家族の皆がビックリしていたとか、親子で楽しく遊べたなど、とても好評でした。
- ◇ 子供たちの本に対する関心も高める良い機会となりました。
- ◇ 準備作業がかなり大変だったので、活動開始時期をもっと早くすると良いという課題は残りましたが、家に持ち帰って準備した時などは子どもが積極的に手伝いもしてくれ、その結果、親子でふれあう時間が増えました。
- ◇ お話ライブラリーもよりよいものにするためにも、図書ボランティアとの連携をさらに密にすることが必要だと感じました。

(2) 広報委員会

活動テーマ 「広報がつなぐ学校・家庭・地域の絆」

☆目的

学校生活・PTA活動・地域のつながりをPRすることも目的として活動しました。

- いぬまるタイムズも親子で一緒に読める内容にし、親子での意見交換の場をつくる
- PTA活動における保護者の意識向上を図る
- 地域の方々の支援に感謝し、その活動について紹介・報告する

☆活動内容

★広報誌いぬまるタイムズの発行…年3回★

紙面を作る際、20年度以降は次のことを念頭におき広報誌の作成にあたりました。

- 子供たちの生き生きとした学校生活を紹介する
- PTAの委員会活動(取り組み)を紹介する
- 地域と犬丸小学校のかかわりを紹介する

主な記事

- 第1回 新入生の紹介、4～6月期の育友会活動紹介
- 第2回 運動会、バザー、7～11月期の育友会活動紹介
- 第3回 卒業生の紹介、12～3月期の育友会活動紹介

いぬまるタイムズは児童のいる全家庭に配布したほか、校下の全家庭に回覧し、地域の方全員に読んでもらいました。

☆成果と課題

- 保護者、地域の方から記事の内容が充実していて学校の様子が分かりやすいと、とても良い評価をいただきました。
- 今後の課題として、記事内容を増やした反面、文字が小さくなってしまったので紙面構成にはもうひと工夫が必要です。



(3) 愛護委員会

活動テーマ 「親子で"培う奉仕の心"と"思いやりの心"」

☆目的

保護者と児童が奉仕作業を通じ、同じ目標に向かって作業することで、親子が互いに思いやる気持ちも確認しあうことを目的としました。

☆活動内容

★親子奉仕作業★

全学年の保護者と5・6年生で親子奉仕作業を行いました。当日はあいにくの雨だったため校舎内のみの清掃となってしまいましたが、日頃手の届かない箇所を中心に清掃を行いました。

家の掃除はあまり手伝わないというお父さんたちも、この日は子供たちの通う学校のためということもあって進んで奉仕作業に汗を流していました。

昨年度までは児童・保護者・学校職員で奉仕作業を行ってきましたが、今年度は「いぬまるっ子サポート会」にも協力していただける予定でした。残念ながら今年度は時間不足のため合同での実施とはならず、夏休み中に作業予定となっています。次年度からは地域と学校をつなぐ行事の一環として作業内容等検討しています。



☆成果と課題

成果

- ☺ 保護者が真剣に清掃作業を行う姿を見せることで子供たちの奉仕の心、モノを大切にする心を育てることにたいへん効果がありました。
- ☺ 子どもたちから「他の子のお父さん、お母さんとも話ができてよかった」や、保護者からも「普段あまりかわからない自分の子供以外の子供たちとふれあう機会ができた」など嬉しい感想もたくさんいただきました。

課題

しかし、一方で"は次のような課題も

- ☺ 全学年の保護者に参加を呼び掛けているが、5・6年生以外の保護者の参加率が低い
- ☺ 5・6年生以外は奉仕作業を通しての保護者とのふれあいの機会がない
- ☺ 清掃場所によっては保護者と児童が離れてしまい親子で参加する意味がない

全児童参加

清掃場所も親子で"同じ場所"あるいは近い場所にし、ふれあう機会を増やす

保護者の参加率増加

- ☺ 町内ごとの分担だったのが2年続けて同じ場所に当たるなど、不満の声があった

学年ごとの割り当てにするなどの工夫が必要

(4) 保健委員会

活動テーマ 「育てよう思いやりの心」

☆目的

親子で健康と安全について考える

- 児童の心身の成長に重要な睡眠を調査し、家庭での児童の生活改善に役立ててもらう
- 児童には早寝早起きを意識させ規則正しい生活を身につけさせる

☆活動内容

★救急救護講習会★

夏休み中、学校のプール開放時には多数の児童が遊びに来ます。児童の安全のため保護者がプール当番をしています。不測の事故の対応として消防署から講師を招き、毎年プール開きの前に講習会を行っています。

人工呼吸って、はずかし～。
でも、もしもの時、そんな事言てられない。



★学校保健委員会★

子どもたちの生活習慣について家族に興味を持ってもらうため、毎年、健康や安全に関するテーマを1つ決め、児童と保護者にアンケート調査を実施しています。それを集計し、親子を対象に学校保健委員会で発表しています。昨年は、「早寝・早起き」について発表しました。

- ① 全学年を対象にチェックカードというアンケート用紙を作成
- ② 6/30～7/6までの早寝・早起きの実態を調査
- ③ 保護者に対しても子供たちとの意識の違いを知るためにアンケートを実施
- ④ アンケートの集計→パワーポイントの作成→発表文の作成→練習をし、学校保健委員会で発表

早寝・早起きって大切なんだー
明日からがんばってみようかな



☆成果と課題

- 睡眠の大切さがよくわかった、と参加いただいた皆さんから多くの意見をいただきました。
- 発表後にアンケートも行った時の一部です。

発表についての回答

データ収集やグラフなどが分かりやすく、良い発表だったと思う。

睡眠についての回答

具体的になぜ早く寝ないといけないのかわからなかったけど、今日の発表を見て理解できた。

改めて規則正しい生活は大切なんだなあと思った。寝る時間をうまく作ってあげることが大切なのだと感じた。

睡眠について深く知った気がする。現状を見直して、早寝・早起きを実行できるようにしたいと思った。

と、睡眠の大切さも理解していただくことができました。

これから子どもたちの成長に関するテーマを親の目線から発表という形で知っていただけるよう努力し、学校保健委員会をみんなが待ち望む会へと発展していければよいと思います。

(5) 学級委員会

活動テーマ 「深めよう家族の絆」

☆目的

- ・ 学級懇談会を通して、保護者どうし、先生方との交流を深める。
- ・ 親子のつとめを通して、親子の絆をより一層深める。

☆活動内容

★学級懇談会(1年に2回)と夜の学級懇談会の企画・運営★

学級懇談会のアンケート結果 意識調査アンケートも行っており、その結果も学級委員会で話し合い、お知らせしました。

① 課題

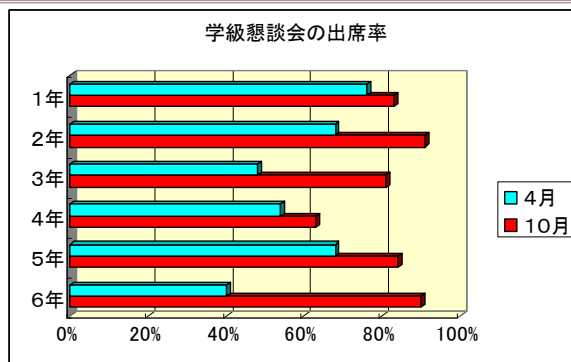
- ① 学年に応じた魅力あるテーマ作り
- ② 兄弟がいる保護者の対策
- ③ 出席しやすい環境作り

② 対策

- ① 前に各学年のテーマも決定し、通知した
- ② 夜の学級懇談会
- ③ 図書ボランティアの方の保育協力(2月の懇談会)

③ 結果

親子の絆を深めるために、学級委員会の参加者も増やそうと、アンケートの結果をもとに問題点について対策も考え、取り組んできました。10月の夜の学級懇談会では、各学年で茶話会のようにしてリラックスした雰囲気の中で行った結果、参加者の出席率が80%以上の学年が多くなり、子ども達のことについて、保護者どうしで情報交換もすることができました。



家での学習の仕方、過ごし方などについて話し合っています。

で、保護者どうしで情報交換もすることができました。

授業参観後の懇談会については、図書ボランティアの方々と連携し児童も預かってもらうなど参加しやすい環境を整えたことで2月の懇談会では、例年と比較して増加しました。



他のお母さん達に新聞を破られないように、気をつけようね。

うん!!

【新聞ビリビリゲーム】

★親子のつとめの企画・運営★

各学年で、親と子が活動をして触れ合い絆を深めていくことを目的とし、発達段階に応じて内容を決めているので、全員出席という学年が増えました。ゲームや料理や工作等を通して、これまでに気が付かなかった子ども達の姿を発見することができたり、いつも遊びに来る友達の家と親しくなれたり等、毎年楽しみにしている行事のひとつになっています。

☆成果と課題

成果

- ・ 懇談会のテーマも魅力あるテーマにし、前もっておたよりや声かけもして知らせていたので、保護者の出席率が上がり、効果的でした。
- ・ 10月の夜の学級懇談会は単独の学年で行い、保護者の方々がゆっくり話ができました。

課題

- ・ 魅力あるテーマを考え、保護者の方の輪がますます広がるような学級懇談会を目指す。
- ・ 安心して学級懇談会に出られるような環境づくりもこれからも考えていく。

5. 公民館・育友会・学校(児童・職員)タイアップ

(1) 朝のオアシス運動



校下公民館が主体となり「朝のオアシス運動」も行っています。育友会理事、学校職員も参加していますが今年は5・6年の各委員会児童も参加しました。子供たちも加わったことで例年にもまして元気な「おはよう」が飛び交いました。

何事も始まりはあいさつからというように、一日の始まりも「おはよう」

のあいさつからです。みなさんお仕事前の忙しい時間を使っての参加ですが、あいさつの大切さを伝えるうえで朝のオアシス運動は大事な役割を担っています。また、たかが「おはよう」の一声ですが、あいさつを交わすことで顔を覚えてもらえ、通学の安全確保の観点からもたいへん有効な手段となっています。



(2) 犬丸小学校下育友会バザー

2年に1度行われるバザーも地域と学校のつながりを深める上でとても重要な行事です。会員と校下住民との親睦をはかると共にその収益も基に学校施設の充実・補助(固定遊具の設置)も目的として行っています。



(3) いぬまるっ子サポート会

21年度から板津校下健全育成会議犬丸校下部会をもっと活性化しよう、地域全体で子供たちを育てようとの思いから「いぬまるっ子サポート会」と名称を変え活動することとなりました。

目的 地域と学校が連携して児童の健全な育成と安全安心な環境整備をサポートする

- 内容**
- ① 防犯活動
通学の安全を守る「まちかど防犯隊」(各町内老人会が中心)
 - ② 健全育成活動
子育てや子供の健全育成への協力(婦人会が中心)
 - ③ 環境整備活動
学校の樹木や環境の整備など(町内会が中心)





まちかど防犯隊対面式



活動予定

- I. 防犯活動・・・登下校の見守り「まちかど防犯隊」(6/24 対面式)
- II. 健全育成活動・・・いぬまるっ子サポート会発足会&第1回子育て講演会(6/26)
第2回子育て講演会(11月)
- III. 環境整備活動・・・除草、木の枝葉伐採・剪定・竹ぼっくり作成等(夏休み中)

6. 成果と課題

各委員会ともいろいろと創意工夫し、前向きな活動も行ってきました。その結果として各行事への保護者の参加率が増加したのもあれば、いまひとつ参加率が伸び悩んだものもあります。いずれについても保護者の関心も引き付け、全員参加とするためにはさらなる努力が必要だと感じました。しかし、研究を通じ各委員以外の保護者の子どもに対する考え方について確認することができ、少なくとも委員会活動の企画運営に携わることのできた私たちは親として一歩成長できたのではないかと思います。

愛護委員会、保健委員会で「は親が熱心に行動することで「思いやりの心」が子どもたちに伝わったのではないのでしょうか。総務委員会のお話ライブラリー、学級委員会の親子のつどいなどで「日ごろ仕事で忙しくてふれあいの機会がなかなか作れないという保護者も子どもも楽しく過ごす時間の大切さ、「家族の絆」の大事さも改めて実感できたと思います。また、それらの行事の中で子どもも通じ保護者とうしの輪も広がるなど当初の目的以外のプラスの効果も生まれました。広報委員会のいぬまるタイムズは地域の方々にも学校での活動を知っていただき、いろいろな行事に参加していただくことで学校・地域・保護者の連帯感が生まれ、安心して子育てのできる環境も整ってきました。さらにいぬまるっ子サポート会の発足など地域对学校に対する関心が高いこと、子どもの成長には地域全体の協力が必要なことも教えられました。親だけでなく、子どもが学ぶ学校、子どもの暮らす地域が連携して思いやりの心を持って接し、地域・学校・保護者が一つの家族として絆を深めていくことで初めて子どもも大きく育てることができるようではないのでしょうか。



地域の中で見れば育友会は一握りの小さなものかもしれませんが、少しでも未来ある子供たちの成長の手助けになれるよう今後も育友会活動に全力で取り組んでいこうと考えています。